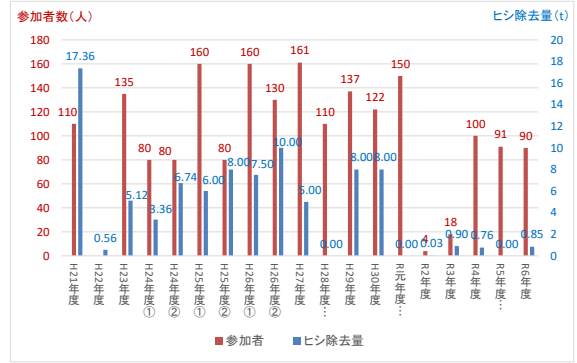


■諏訪湖環境保全事業 ヒシ除去実績（諏訪市実施分）

年度	実施日	主催団体名	作業場所	ヒシ(m)	ヒシ(t)	参加者(人)	備考
H19年度							
H20年度							
H21年度		主催:諏訪市	①石影公園前・新川河口周辺 ②石影公園前	86.8	17.36	110	
H22年度		主催:諏訪市	石影公園前～新川河口周辺	2.8	0.56		元気づくり支援会
H23年度		主催:諏訪市	石影公園前～新川河口周辺	25.6	5.12	136	元気づくり支援会
H24年度①	H24.7.22(土)	主催:諏訪市	石影公園前～新川河口周辺	16.8	3.36	80	元気づくり支援会
H24年度②	H24.8.19(日)	主催:諏訪市	石影公園前～新川河口周辺	33.7	6.74	80	
H25年度①	H25.7.27(土)	主催:信濃毎日新聞 共催:諏訪市 協力:諏訪湖漁業協同組合、長野県連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限	新川中心(ガラスの里～初島)	30.0	6.00	160	AQUA SOCIAL FES!! 2014 共催
H25年度②	H25.8.18(土)	主催:諏訪市	間欠泉から新川	40.0	8.00	80	元気づくり支援会
H26年度①	H26.7.12(土)	主催:信濃毎日新聞 共催:諏訪市 協力:諏訪湖漁業協同組合、長野県連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限	新川(諏訪湖河口から上流500m)	37.5	7.50	160	AQUA SOCIAL FES!! 2014 共催
H26年度②	H26.8.23(土)	主催:信濃毎日新聞 共催:諏訪市 協力:諏訪湖漁業協同組合、長野県連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限	衣之渡川及び舟渡川の河口付近	50.0	10.00	130	元気づくり支援会
H27年度	H27.7.4(土)	主催:信濃毎日新聞 共催:諏訪市 協力:諏訪湖漁業協同組合、長野県連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限	新川(諏訪湖河口から上流550m)	25.0	5.00	161	共催(1回をオハロウへ橋)
H28年度雨天中止	H28.7.9(土)	主催:信濃毎日新聞 共催:諏訪市 協力:諏訪湖漁業協同組合、諏訪郡連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限	雨天作業中止のため学習会のみ実施	-	-	110	AQUA SOCIAL FES!! 2016 共催
H29年度	H29.8.5(土)	主催:信濃毎日新聞 共催:諏訪市 協力:諏訪湖漁業協同組合、諏訪郡連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限	新川(諏訪湖河口から上流550m)	40.0	8.00	137	AQUA SOCIAL FES!! 2017 共催
H30年度	H30.7.21(土)	主催:諏訪市 共催:諏訪市 協力:諏訪湖漁業協同組合、諏訪郡連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限	諏訪湖畔(ランド前、小川浜付近)	40.0	8.00	126	TOYOTA SOCIAL FES!!2018共催
R元年度雨天中止	R元.7.27(土)	主催:信濃毎日新聞 共催:諏訪市 協力:諏訪湖漁業協同組合、諏訪郡連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限	台風接近により作業中止のため学習会のみ実施	-	-	156	TOYOTA SOCIAL FES!!2019共催
R2年度	R2.7.28(火)	主催:諏訪市	新川河口	1.0	0.03	4	生活環境課職員のみ
R3年度	R3.7.3(土)	主催:諏訪市 共催:信濃毎日新聞社 協力:諏訪市 協力:諏訪湖漁業協同組合	新川河口(諏訪湖河口から上流550m)	5.0	0.90	18	市職員他有志8、漁協4、環境課関係職員
R4年度	R4.7.2(土)	主催:諏訪市 共催:諏訪市 協力:諏訪市セーリング協会、諏訪湖釣船組合、下諏訪町連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限	諏訪湖畔(ランド横)	3.8	0.76	100	TOYOTA SOCIAL FES!!2022共催
R5年度雨天中止	R5.7.1(土)	主催:信濃毎日新聞社 共催:諏訪市 協力:諏訪市セーリング協会、下諏訪町連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限	悪天候により作業中止のため学習会のみ実施	-	-	91	TOYOTA SOCIAL FES!!2023共催
R6年度	R6.7.6(土)	主催:信濃毎日新聞社 共催:諏訪市 協力:諏訪市セーリング協会、下諏訪町連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限	諏訪湖畔(ランド横)	4.3	0.85	90	TOYOTA SOCIAL FES!!2024共催
計				442.3	88.18	1,828	



※ 比重 約0.2

他団体

H25	H25.7.6	ヒシ	あほう丸会	新川河口
	H25.8.10	ヒシ	豊田「小川区」	武井田川
H26	H26.7.12	ヒシ	あほう丸会	新川河口
H27	H27.7.11	ヒシ	あほう丸会	新川河口
H28	H28.7.9	ヒシ	あほう丸会	新川河口
H29	H29.7.8	ヒシ	あほう丸会	新川河口

3.54t

【回数増の考え方】

- 各議員にも実際に現場を見て、実際に市民とともに汗を流して活動した上で、令和元年度からイベントの開催通知を議員に送付している。ご参加いただいた議員には感謝申し上げます。
- 段取り8分、本番1分、片付1分というとおり、参加者にはたった1日のイベントであるが、準備する職員の労力は決して一般に目に触れることは無いが、大変大きい。
- 6～8月は他のイベント(浄化協定期総会・県関係機関意見交換会、諏訪湖群オオハンゴンソウ除去、上川アレチウリ除去、霧ヶ峰ハルギヤママダラシ除去、霧ヶ峰オオハンゴンソウ除去、霧ヶ峰自然保護バト、温暖化防止講演会、市役所ロビー展示、湖上花火)が多く、職員の労力の状況からこれ以上のイベントは無理。当係はこれらイベントだけでなく、24時間365日公害対応を行っており、心身共に負担が大きい。
- 職員のワークライフバランスの観点も重要。係員4名で年休取得は、H28年19日(4.7日/人年、市目標達成率39.6%)、H29年27日(6.7日/人年、同56%)。休日出勤分を振替休暇にしても通常業務があるため消化できないうえ年休も取得ができないため、H30からは休日出勤分を時間外手当対応とし年休取得促進を図ったが、それでも33日(8.2日/人年、同68%)に留まっている。
- 県管理地で行っている管理事業であるが、現体制においてこれ以上の回数増は果たして適切であるか。諏訪湖創生ビジョン推進会議の枠組みの中で、流域全体の課題として取り組んでいるので、そちらの回数増、規模の拡大を検討することが先ではないか。
- そもそも、市の活動の回数増では、抜本的解決には結びつかないし、抜本的解決は主目的ではないし、主目的とすること自体おかしい。市の活動の主目的は啓発、知って貰う事。諏訪圏域の小中高校生も多く参加している。諏訪湖の問題を実体験を通して体験する場。
- ヒシ岡谷市単独開催1回、下諏訪町開催なし。岡谷市のヒシ作業に参加したが、環境市民会議おかの組織力で区長会、衛生自治会からの参加がほとんどで、中高年、女性の参加もあった。地元民の積極的な参加が特徴的。諏訪市の場合、そのような傾向なし。
- R01行政評価外部評価対象となり、評価委員からの意見抜粋は次のとおり。「広域での取組強化」、「広域での交流強化」、「諏訪湖は2市1町だけのものではない」、「流域全体の課題としての取組推進」、「諏訪湖環境研究センターが設置されるので、県に対して抜本策が取れるよう予算拡大を要請」、「県主体には賛成、県と流域市町村の連携強化が必要」、「事業についての情報発信が必要」、「若い世代へ伝える必要がある」。これらを受け、諏訪市の活動の参加募集通知を県、諏訪圏全市町村、市内全小中学校、圏内全高校、信州大学、諏訪東京理科大学、諏訪赤十字看護専門学校長、長野県福祉大学校長に送るとともに、市HPで活動の内容を掲載。今後も継続する。